

平成25年度病害虫発生予報第12号(3月予報)

<今月のコラム> 3月に発生が予想される病害虫について

2週先までの気温の予測情報 ～異常天候早期警戒情報とは～

<お知らせ> イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しております。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/documents/h25-ineyo.html>

今月のトピックス

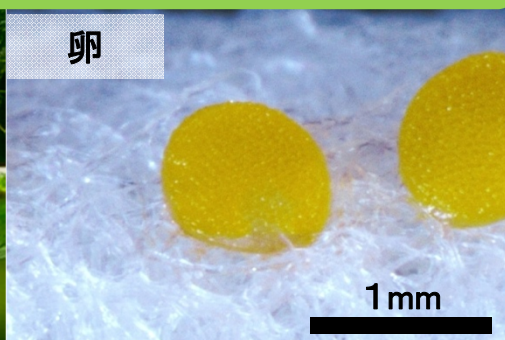
ヒメクロウリハムシ (ヘチマ)

学名 : *Aulacophora lewisii*

成虫



卵



幼虫



幼虫による被害



蛹



生態と被害

本種は、ウリ科作物の害虫で、特に、ヘチマの害虫として知られる。被害は、成虫による葉及び花の食害と幼虫による根の食害に大別されるが、成幼虫が果実及び茎を食害することもある。屋久島以南～東南アジアに分布する。成虫の体長は6mm前後。本県では4種のウリハムシ属が知られるが、本種は鞘翅が黒色で、触角、頭部、胸部及び脚部が赤褐色をしていることから区別できる。幼虫は、白～淡黄白色の細長いうじ状である。成虫の発生ピークは4月と7月であるが、特に、7月に多い。越冬成虫は、3月頃から圃場に飛来し、株元の地際に産卵する。老熟した幼虫は、土中で蛹化する。新成虫は7月前後に発生し始め、晩秋、圃場周辺に移動し越冬する。7月の発生量が4月の越冬成虫数と産卵数に依存することから、冬春期の成虫の捕殺や、株元マルチによる産卵防止、ウリ科雑草の除去なども有効である。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>